

センターだより

第10号

平成27(2015)年 3月9日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成26年度 教育センター 事業報告

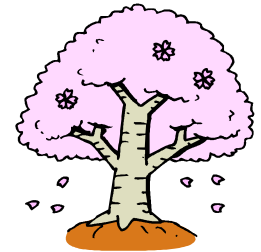
1 教職員研修

(1) 市教育センター研修 198講座

参加者 のべ5,661人 (3/5現在)

<一般研修講座> 164講座 参加者 のべ5,213人

- ア. 管理職研修(24講座)
 - ・校長、教頭、新任校長、新任教頭
- イ. ライフステージに合った研修講座(79講座)
 - ・初任者、新転任者、フレッシュ(新規採用養護教諭・事務職員・幼稚園教諭、新規任用講師)・ステップアップ、ヤングリーダー、学校パワーアップ、10年経験者、スクールリーダー(首席・指導教諭・主幹・主査・副主査)
- ウ. 教育課題別研修講座(14講座)
 - ・教育課程、人権教育、生徒指導、教育相談、応急手当、国際理解、歴史探訪等
- エ. 教科・領域別研修講座(21講座)
 - ・授業づくり(理科実験・観察、ICT活用、スーパーティーチャーに学ぶ等)
 - ・小学校英語活動(基礎研修、授業研修、夏季集中)
- オ. 幼稚園教育研修講座(1講座)
- カ. 専門職等研修講座(11講座)
 - ・学校事務職員、栄養教諭、養護教諭、学校図書館担当者
- キ. 特別支援教育研修(14講座)
 - ・特別支援教育コーディネーター(ベーシック・アドバンス)、事例検討、支援学級合同研修(14講座)
- ク. さつきらる一む(初任者教員等相談室)(延べ24回)
 - ・研究授業等に向けての相談、代表研究授業に向けての相談、初任者等への訪問指導



<情報教育研修講座> 34講座 参加者 のべ 448人

- ア. システム管理 イ. 情報セキュリティ ウ. 情報モラル エ. 校内LAN・ICT機器活用
- オ. ホームページ・ブログの作成・活用 カ. 各種ソフト活用 キ. 栄養教諭・学校図書館担当者・校務員研修

(2) 校内研修支援

- ア. 校内研修講師謝金 イ. 研修・大会参加負担金 ウ. 校内研修会指導助言
- エ. 中学校パッケージ研修支援(青山台中学校、豊津西中学校、第二中学校)

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

- ア. 発達理解研究 イ. ICT活用研究 ウ. 幼小中一貫カリキュラム研究

(2) 研究学校委嘱

- ア. 道徳教育 . . . 南千里中 イ. 言語活動 . . . 佐井寺小、吹田第三小、佐竹台小 ウ. ICT活用 . . . 山田中

(3) 教育研究団体への支援

- ア. 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ. 大阪府小・中学校教育研究会 分担金 ウ. 各研究協議会 分担金

3 教育資料の収集・発信

(1) 教育情報の収集・発信

- ア. センターだより(各月・特別号)・紀要109号(年度末に電子版で発行)、所報85号(年度末に発行)要覧NO.21(毎年発行)
- イ. 教育資料等の充実・活用、検索システムの改善 情報教育用コンテンツの充実(ホームページの利用)

4 教育研究大会・教育研究報告会

- ア. 教育研究大会 1,340人の教職員が参加
教育研究大会として全体講演会を8月26日(火)に実施
- イ. 教育研究報告会 248人の教職員が参加
教育センター行事として1月28日(水)午後実施。研究委嘱校、学研、研究グループ等の10団体が発表
- ウ. 保護者啓発講演会 1月28日(水)午前に講演会を実施。保護者等119人が参加

5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員またはSCを派遣し、子どもや保護者、教職員のニーズに対応
- (3) いじめのなやみ相談 (専用ダイヤル)

6 適応指導教室

- (1) 不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標にした「光の森」活動、「学びの森」活動、「家庭訪問活動」の実施

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への巡回発達相談の実施
- (2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修 特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研修、支援学級研修の実施
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

- (1) 進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談、および保護者等の支援

9 情報教育

- (1) 情報教育機器等の整備
ア. ICT機器の保守、校内LANの整備・活用
- (2) SATSUKIネットの普及・運用
ア. 学校園ホームページの管理・更新 イ. 教職員へのID、メールアドレスの配付による運用
ウ. 「校務なび」による学校間連絡体制 エ. サーバセンターを中心としたセキュリティ確保の一元化 等
- (3) 情報教育推進支援
ア. 情報教育推進委員会 (6回開催) イ. 情報教育研修の実施 (※教職員研修欄参照)

10 学校支援

- (1) 学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数 (1/31現在) : 802名
ア. エス・ネット イ. スクール・ボランティア ウ. 学校インターンシップ

平成27年度事業計画

1 教職員研修

- (1) キャリアステージに応じた研修の充実
初任者研修 (法定研修) 対象81名 (3/2現在) 10年経験者研修 (法定研修) 対象51名 (3/2現在)
ステップアップ研修 (Ⅰ: 2年目 Ⅱ: 3~5年目) ヤングリーダー研修 (10年研修前)
学校パワーアップ (10年研修後)
- (2) 校内研修支援
校内研修報償費 (平成26年度並) 校内研修負担金 (7000円/校)
- (3) 教育研究大会
平成27年8月26日 (水) 午後 メイシアター大・中ホール 今日的な教育テーマで講演を予定
- (4) 教育研究報告会・保護者講演会
平成28年1月27日 (水) 午後 メイシアター小ホール・集会室 (予定)

2 教育課題調査研究

- (1) 教育センター研究グループ
発達理解研究グループ ICT活用研究グループ 幼小中一貫カリキュラム (11教科チーム)
- (2) 研究委嘱校 ※ () 内は年次
言語活動…吹田第三小学校 (2) 佐竹台小学校 (2) 道徳教育…南千里中学校 (2) ICT活用…山田中学校 (2)
- (3) 校内研究支援 中学校パッケージ研修

3 教育相談

- (1) 来所・電話相談変更なし 出張教育相談…年間30回・年間18回・2校で35回・午後からの派遣を設定
- (2) 大阪府スクールカウンセラー 配置校以外の変更なし

4 適応指導教室

光の森活動・学びの森活動・家庭訪問活動…大きなシステム変更なし

5 特別支援教育

- (1) 全小学校巡回相談の実施 (小学校1年生スクリーニングの実施に向けて)
- (2) 特別支援教育Co. 研修 2コース制から共通・選択研修へ

6 情報教育

- (1) タブレットパソコン活用の推進 活用研修、公開授業の実施 (2) 校務用パソコンの充実
- (3) 情報リテラシー、情報セキュリティの徹底 情報教育研修の充実

◆ 教育相談 ◆

1. 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成26年度は、市内全35小学校を対象に、相談実績に応じて年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラーが全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。2月末現在では小学校・出張教育相談が約2300回、中学校・スクールカウンセラーでは約4300回の相談があり、特に不登校、問題行動、発達障がい等に関する相談を多く取扱いしました。小学校では保護者相談が多いですが、中学校では生徒本人からの学校生活に関する相談も多く取扱っています。相談員・SCの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

2. 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、2月末現在で合わせて約3120回の相談がありました。主訴は出張相談・SCと同様、不登校、問題行動、発達障がい等に関する相談が多く、電話相談から来所相談、または出張相談につながるケースも多く見られました。

3. 来年度に向けて

平成27年度も今年度にひきつづき、木曜日の夜間来所相談を実施します。また、出張教育相談においてはニーズ・実績に合わせて派遣形態や回数を設定します。また、教育相談を活用していただくために平成25年度4月に発行した「教育相談ハンドブック」を各学校園でご活用ください。

◆ 不登校児童生徒支援事業 ◆

1. 適応指導教室の本年度の状況

平成26年度は、前年度と同様に「光の森」「学びの森」「家庭訪問活動」とそれぞれの適応指導教室の活動を実施しました。今年度の在室人数は「光の森」が19名（中学3年生10名、2年生9名、1年生0名、小学生0名）、「学びの森」は、23名（中学3年生11名、2年生8名、1年生3名、小学生1名）、「家庭訪問活動」は、0名（中学3年生0名）です。
〔いずれも2月末現在。体験中児童・生徒含む〕

本年度は学校訪問や連絡会を通して、細かな不登校支援を目指し、適応指導教室の目的や入室までの流れについてご理解・ご協力をいただいた結果、各学校との連携をスムーズに進めることができました。適応指導教室でのステップアップ研修も実施しました。適応指導教室に安定して通うことの出来ている子どもの数も増えています。

2. 来年度へ向けて

適応指導教室に通うことで、他者との関わり方や自分の気持ちを表現することを学ぶだけでなく、少しずつ自分の内面を振り返ったり、また自分の将来について考えたりすることができるようになった子どもが多くみられました。日々の小さな何気ない会話や活動の積み重ねが子どもたちの成長に大きく関わっていることが感じられます。今後も長期欠席児童・生徒に対しては、適応指導教室だけでなく、「家庭訪問」活動も含めて、様々な学校支援を行っていきます。また学校はもちろん他の機関との情報共有や連携を図り、市全体としての不登校児童・生徒支援を進めていきます。

教職員研修

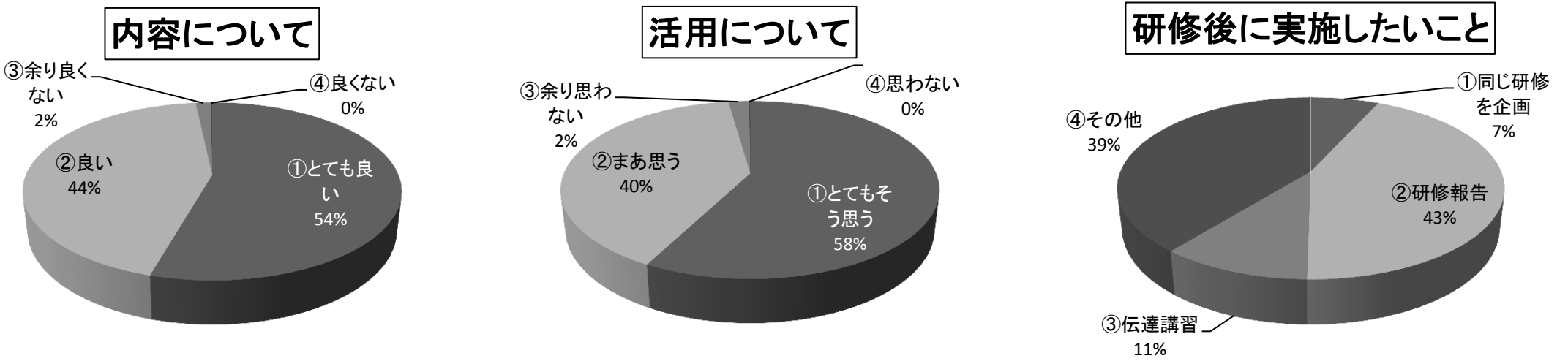
平成26年度は、グローバル教育や幼小中一貫教育などの吹田市の重点施策や、次世代リーダー育成・授業づくり研修などに重点をおき、合計の研修198講座を実施し、のべ5661人の参加がありました。(3月5日現在)

■ 平成26年度研修講座と参加者数(3月5日現在) 全講座数 198 講座 参加者数のべ 5,661 人

研修名	講座数		受講者数		研修名	講座数		受講者数	
	今年度	昨年度	今年度	昨年度		今年度	昨年度	今年度	昨年度
管理職研修	24	22	996	1002	教育課題別研修	14	15	437	362
スクールリーダー研修	6	6	173	178	英語教育研修	7	8	166	311
学校パワーアップ研修	4		50		授業づくり研修	14	15	501	603
10年経験者研修 ※選択研修は教育課題別研修へ	4	2	136	80	特別支援教育研修	14	15	842	908
ヤングリーダー研修	6	7	95	62	専門職研修	11	11	172	169
ステップアップ研修	21	20	878	753	幼稚園・小学校教育研修	1	1	11	14
初任者・フレッシュ研修※	38	44	756	988	情報教育研修※	34	30	448	350
					講座全体	198	196	5661	5780

※印は3月2日現在でまだ参加人数が確定していない研修

■ 全体結果概要(計120講座 集計人数3483人 回収率89.2%)



研修内容については、98%の方から「良かった」、「今後の職務に生かせそうだ」と回答があり、昨年度同様の高い評価をいただきました。特に、初任者研修・ステップアップ研修・ヤングリーダー研修・専門職研修・授業づくり研修では、60%以上の方から「とても良い」と評価をいただきました。また、今年度はアンケートに「研修後に実施したいこと」という項目を新たに設定し、研修の事後活用についてより具体的に聞くようにしました。その結果、約60%の受講者から、なんらかの発信をするという回答を得ました。他にも自由記述等でもたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。

■ 講座別結果(「内容はどうでしたか?」に対する回答)

